

ACPについての冊子「もしものとき」 (普及啓発用資料)

【目的】 人生の最終段階の在り方を考えてもらうための普及啓発

- 本人の価値観、大切にしていることなど本人を人として尊重し、本人がもつとも望む形で最期を迎えられるようにすること。
- 住み慣れた地域で自分らしく安心した生活ができるようにすること。
- 本人が希望どおりに生きられること。
- もしものときに備えることで、本人・家族の不安を減らすことができること。
- これらを考えるための“きっかけ”として普及啓発用資料を作成した。
- 専門職や市民へ広く普及していく。

【ターゲット】 50代以上の男女

- 50～60代は親の介護をする世代で、家族として関わることもあり、また、終末期（老後）のことを考える世代。
- 70代以上は自分自身のことであり、自分がどう生きたいか考えて、話し合っしてほしい世代。

【設置予定場所】

| | |
|------------------|---|
| 公 的 機 関 | <ul style="list-style-type: none"> ・市役所窓口 ・公民館 ・図書館 など |
| 病 院 等 | <ul style="list-style-type: none"> ・病院 ・診療所 ・歯科医院 ・薬局 など |
| 相 談 機 関 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター ・諫早市在宅医療・介護連携支援センター 「かけはしいさはや」 など |